

第18回 滝井セミナー

— 子どもを理解するために —

関西医科大学総合医療センター分教室

1 はじめに

「滝井セミナー」は、関西医科大学総合医療センターの小児科の医師と関西医科大学総合医療センター分教室との共催で実施している研修会である。病弱教育における府立支援学校のセンター的機能の一環として長年取り組んできている研修会でもある。以下、概要を報告する。

2 第18回 「滝井セミナー」の概要

日時 令和6年8月1日（木）・8月2日（金） 両日とも10:00～16:00

※オンデマンド配信

令和6年8月6日（火）～8月30日（金）まで

配信方法 オンデマンド配信：YouTube を利用した限定配信

対象 教職員及び教育関係者等

目的 コロナ禍における起立性調節障害や摂食障害など小児心身症の子どもたちへの留意点や対応等について理解を深める。

内容 「大阪府立桃谷高等学校の取り組み」

大阪府立桃谷高等学校通信制の課程 首席 西原 清子

「関西医科大学総合医療センター分教室紹介」 教諭 橘岡 正樹

「発達障害への理解と対応」

関西医科大学総合医療センター 教授 石崎 優子

「起立性調節障害への理解と対応」

関西医科大学総合医療センター 助教 吉田 龍平

関西医科大学総合医療センター 講師 柳本 嘉時

3 アンケート結果報告

（会場参加及びオンデマンド視聴希望申込数 428 名 アンケート回収 211 名）

◎アンケート結果

所属	小学校	中学校	高等学校	支援学校	教育委員会	その他
	106	69	18	16	1	1

◎次年度希望する開催方法

会場開催及び 動画形式	動画形式の配信 のみ	会場開催のみ	その他
126	39	37	9

Ⅲ 公開講座

4 考察とまとめ

(1) セミナーについて

今年度は午前中に大阪府立桃谷高等学校の取組みを講演していただいた。参加者アンケートからは「通信制高校の概要を知る貴重な機会となった」と多くの声が寄せられた。

昨年に引き続き会場とオンデマンド方式を併用したが、会場にも多くの方に足を運んでいただくことができた。

アンケート結果等（自由記述）からセミナーへの満足度は例年同様高く、リピート参加される方も多かった。その点からも医師の講義が小中学校等で活用されていることが推測される。また、講演後の質問タイムにおいても医師への質問が途切れないことなど、本セミナーの必要性を強く感じる。

(2) 課題

今年度は昼食をはさんでの一日の開催にしたことにより、昼食場所を会場で用意できないなどの課題が出された。

また、本校の病弱教育のセンター的機能を発揮する上で

①開催方法

②セミナーの内容の改善

③参加数に対するアンケート回答率の低さ

④セミナー参加者募集方法

などについて今後とも検討を行っていく必要がある。

(3) 改善及び取組み

- ・昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行した。昨年度より会場に人を集めてセミナーを開催してきた。今後どのような方法で開催することが参加者のニーズや時代に即した形なのかを検討し、よりよい開催方法を見出していきたい。（課題①）
- ・毎年関西医科大学総合医療センターの医師より講演をいただき、多くの参加があった。これからもアンケートに基づき参加者のニーズをもとにしたセミナーを開催していく必要がある。（課題②）
- ・特に配信視聴された方のアンケート回答率が低いため、アンケートの方法に改善を加えていく。（課題③）
- ・クラウド上での参加募集方法を行っているが、慣れていない参加希望の方も多くおられ、今年度も問い合わせが多かった。案内の方法や申し込み方法など、わかりやすいものに改善していく。（課題④）

(4) 最後に

来年度のセミナー開催に向けて、今年度の課題を改善し、回を重ねるごとにより精度の高い、意義のあるセミナーへと発展していけたらと願っている。